

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和5年9月7日

①学校名:	北海道医療大学	②所在地:	北海道石狩郡当別町金沢1757		
③課程名:	認定看護師研修センター 感染管理分野	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	H17.6.1
⑥責任者:	認定看護師研修センター長 平 典子	⑦定員:	35名	⑧期間:	7カ月
⑨申請する課程の目的・概要:	特定の看護分野において専門的知識と技術を用いて看護実践を展開し、地域における看護の質の向上に資する認定看護師を養成することを目的とする。また、知識・技術のみならず、人間を取り巻く法律や社会制度ならびに人文科学的知識、さらに各領域を発展させていく指導力を併せ持つ人材を養成することを目的とする。さらに、感染管理分野においては、以下の3つの能力を育成することを目的とする。1.医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対し、専門的知識と高度な技術に基づいて医療関連感染の予防と管理を実践できる。2.医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対し、医療関連感染の予防と管理について指導できる。3.医療関連感染の予防と管理について、医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族からの相談に対応し、問題解決に向けた支援ができる。				
⑩4テーマへの該当の有無	地方創生 (地域活性化)	⑪履修資格:	(1)日本国の看護師免許を有する者 (2)看護師免許取得後、通算5年以上の実務研修(経験を含む)を有する者(入学時点で5年を満たしていれば可。その場合は証明が必要。) (3)(2)のうち、特定の看護分野(認定看護分野)での通算3年以上の実務研修(経験を含む)を有する者 (4)通算3年以上、感染管理に関わる活動実績(感染対策委員会、ICT、リンクナース会等)を有すること。 (5)感染予防・管理等において自身が実施したケア等の改善実績を1事例以上有すること。 (6)医療関連感染サーベイランス実施における一連の流れを理解していることが望ましい。 (7)現在、医療施設等において、専任または兼任として感染管理に関わる活動に携わっていることが望ましい。		
⑫対象とする職業の種類:	看護師				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・感染管理の専門的知識 ・医療感染サーベイランスや感染対策指導の技術		(得られる能力) ・医療関連感染の予防と管理を実践できる能力 ・医療関連感染の予防と管理について指導できる能力 ・医療関連感染の予防と管理について、医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族からの相談に対応し、問題解決に向けた支援ができる能力		
⑭教育課程:	講義、演習、実習を通して、微生物学、感染症学、統計・疫学等を学び、医療感染サーベイランスや感染対策指導の技術を修得させる。さらに、これらの専門的知識と技術をベースにして感染対策を組織的・計画的に推進できるよう、所属組織のアセスメントに基づいた感染管理プログラムを策定させる。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	620時間の全授業科目の修得、修了試験の合格				

⑯修了時に付与される学位・資格等:	修了証書、履修証明書、認定看護師認定審査の受験資格						
⑰総授業時数:	620	時間	⑱要件該当授業時数:	537時間	該当要件	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数:	87%
⑳成績評価の方法:	出席状況、筆記試験、各種実習の観察評価、実技試験、レポート、プレゼンテーション等により判断する。						
㉑自己点検・評価の方法:	大学の点検評価全学審議会の下で、定期的に点検及び評価を行い、大学全体の点検及び評価に係る報告書を作成し、大学ホームページにおいて公表する。また、認定看護師研修センター運営委員会においても、教育課程等について点検・評価を行う。さらに、日本看護協会に認定された認定看護師教育機関は、日本看護協会のホームページに機関情報等が公開され、日本看護協会の定期的な審査・視察を受ける。						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	認定看護師認定審査の合格率を分析・検証し、大学全体の点検及び評価に係る報告書に合格者推移を記載のうえ、本学ホームページにおいて公表する。また、修了生に対し、認定看護師認定審査の合格に向けた試験対策セミナーを実施するとともに、当該審査結果を確認し、不合格者がいた場合には不合格となった要因を分析する。						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 認定看護師研修センター運営委員会において、看護系団体の職員を外部委員として構成しており、外部機関の意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 認定看護師研修センター運営委員会において、看護系団体の職員を外部委員として構成しており、外部機関の意見を取り入れる。						
㉔社会人が受講しやすい工夫:	サテライトキャンパスで開講することにより、通学時間の短縮や交通アクセスの利便性向上に努めている。また、開講期間を7ヵ月にして休職期間を短くするなど、在籍している所属機関と受講者の負担軽減を図っている。さらに、経済的支援として、日本看護協会奨学金制度を紹介している。						
㉕ホームページ:	(URL) http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nintei/						

事務担当者名:	菊地 啓之	所属部署:	学務部看護福祉学課
連絡先:	(電話番号)	0133-23-1211(内線2167)	
	(E-mail)	nskyomu@hoku-iryo-u.ac.jp	

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。